

物流拠点構想（方向性）の策定について

1 構想策定の経緯

近年、E コマース市場の急拡大による輸送需要の増加やドライバー不足問題等物流業界を取り巻く環境が大きく変化している。本州と九州の結節点に位置する本市は、交通の要衝であり、陸・海・空の交通網が充実しており、物流拠点としてのポテンシャルを有している。

そこで、更なる物流拠点化を目指し、本市の物流拠点としてのプレゼンスを向上させるため、今年度より「物流拠点構想」の策定に着手した。

2 構想策定の経過

- 令和3年 5月～令和3年10月 物流拠点構想策定委員会の開催（計4回）
- 令和3年 6月15日 経済港湾委員会 報告
- 令和3年10月28日 経済港湾委員会 報告（方向性とりまとめ）

3 関係者へのヒアリング（令和3年10月末時点）

- 物流関係事業者（総物流事業者、陸送・海運・航空事業者、荷主企業、開発事業者等）
81社
- 官公庁 4機関
- 有識者 3名

4 構想の構成

- 物流を取り巻く現状と課題
- 本市の現状
- 有識者の意見や物流事業者のニーズ
- 上記を踏まえた課題
- 取組の方向性
 - ・ 物流の効率化・生産性の向上
 - ・ 強靱で持続可能なグリーン物流ネットワークの構築
 - ・ 物流基盤の強化による効率的な物流の実現
 - ・ 物流の高度化・次世代物流の実現
 - ・ 物流基盤を活かした成長産業の誘致
- 施策、実施計画（案）
- 物流リーディングプロジェクト 資料2
- 物流活性化プロジェクト 資料3

資料1

5 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年12月 経済港湾委員会 本編報告
- 令和3年12月～令和4年1月 パブリックコメント
- 構想と併せて、当面5年程度の期間における個別の施策・事業等を定める実施計画もとりまとめる予定